

◎司会進行 事務局（会長決定まで）

【事務局／開会】

○会長が決まるまでの進行役、委嘱状の机上配布について説明

【事務局／委員紹介】

○資料1に従い、委員（20名）を紹介

【高谷市長／挨拶】

○市長より、委員に対し挨拶

※事務局から、公務により退席する旨説明

【事務局／会議設置要綱の説明】

○事務局から、資料2に従い説明

<質疑応答>

・委員

公開というのは、具体的に広報に載せる等という形で、誰が何を話したなど公開されるのか。

・事務局

委員に配布した資料と会議要旨を市のホームページに公開することを考えている。

会議要旨については、委員名を出さないように公表したい。

【事務局／会長及び副会長の選出】

○互選の方法を決定した後、事務局の指名により、会長、副会長を指名。

会長が会長席へ移動。

【会長挨拶】

○会長より、会長就任挨拶

この会議は国の推進している法に則った会議であり、いろいろな議論があるが、北斗市にとって重要な会議だという認識のもと、進めていきたい。

北斗市は、道南地域の中でも人口動態が安定して推移してきたが、国の指摘の通り、人口減が厳しく問題視されるという事態となり、正念場に差し掛かっていると思っている。そのため、法に定められたこのような会議があるのだが、その中でも非常に北斗市は恵まれていると考えている。

1964年新幹線が開通して以来、北海道で初めて新幹線駅ができるという画期的な事態にある。

ももとは十分理解していたつもりだが、北斗市は魅力的な観光資源、産業資源がたくさんあるまちであり、これを活用しようという意欲的な状態にあるという認識もある。

これは、この後に訪れるであろう、人口減少等様々な問題に立ち向かえる力を持っているという認識であることを踏まえ、総合戦略の策定に関わっていききたいと思っている次第である。

なにとぞ、委員の皆様にはよろしくご協力をお願いして、良い議論により総合戦略として市民の皆さ

ん、国の方にも理解してもらい、さまざまな協力が得られるような結論を得たいと思っているので、重ねてよろしくお願ひしたい。

早速、議事に従い、進めてまいりたいと思っている。

本日、4時半を目途に会議を閉めさせていただきたいと考えているので、ご協力のほどお願ひしたい。

◎司会進行 会長（会議終了まで）

【会長／議事】

(1) 国のまち・ひと・しごと創生基本指針について

○事務局から、資料3に従い説明

<質疑応答なし>

(2) 会議のスケジュールについて

○事務局から、資料4に従い説明

<質疑応答なし>

(3) 北斗市人口ビジョン〔骨子案〕及び北斗市総合戦略〔骨子案〕について

○事務局から、資料5、資料6に従い説明

その後、今後の進むべき方向・現状認識及び基本目標1～4について、会長からの指名により、各委員に自由に意見を述べていただいた。

[今後の進むべき方向・現状認識] について

発言者	発言内容
委員	<p>新幹線の駅ができる北斗市に対する期待や役割の観点で、現状認識として、いろいろな方面から聞かれることとしては、受け入れ態勢がどうなっているのかということがある。</p> <p>人口減少問題に通ずるものとして、大きな事業に対するマンパワー不足が否めないと思っている。</p> <p>また、あまり取り組む課題を広げすぎると、効果を出しにくくなるのではないかと知っている。</p> <p>何から着手していくことが一番効果が高いのか、マンパワー不足をしっかりとカバーしつつ、できることを計画立てることが必要なのではないかと。</p> <p>新幹線開業という問題があるので、そこに向かって北斗市が中心となり近隣の市町村と連携してやっていくと思う。まずは成功したかしていないかということ自体が開業日の報道等で大きく取り上げられると思っているが、どういうメディアの捉えられ方をされるかということが後々の北斗市のイメージや引きずっていかねばならないものになってしまう可能性が良い面・悪い面と秘めていると思うので、どう北斗市の素晴らしさを全国に発信できるかということになろうかと思っている。</p>

委員	<p>北斗市=子どもの医療費がかからないということで、自分も周りでは北斗市に住む人が増えてきている状態だったのだが、統計的な部分で数字で拾うと実際は減ってきているという現象がはっきり分かってきた。</p> <p>観光の部分での協力体制もできると考えている。</p> <p>来年3月の北海道新幹線開業に向けてパンフレットを作成してきている。観光協会などにも手伝いをいただきながら、7月末に出来上がる形で進めている。</p>
会長	<p>新幹線開業に関わることとしては、開業前のこと、そして開業後に続くことについても戦略の中では考えていく必要があると感じている。</p>

[基本目標1] について

発言者	発言内容
委員	<p>昔から、北海道の観光は観光資源は1流、サービスは2流以下若しくは4流、5流と言われる。</p> <p>おもてなしの気持ちはたいそうなものではなく、まずはお客様が来たら「いらっしゃいませ」、お帰りになるときに「ありがとうございました」と言えるかどうかだと思う。</p> <p>観光でやっていくという意識がまち全体でどのように考えているのかということから始まるのではないか。</p> <p>理想を言えば、小学生から大人まで観光客に話しかけられるかどうか、またゴミが落ちていないかなどと心を配れるか、そういった細かいところからみてもどうなのか。</p> <p>観光資源は十分にあるのだが、点在しているので、線で結べるようなものが理想である。これができる、外から来る方に対してもアピール度は高まると思う。</p> <p>最近、コアな観光を望む方が増えている。</p> <p>北斗市らしさとは何なのか、基本をよく考え、どのように情報発信していくか、方向性が決まれば具体化していけるのではないかと思う。</p> <p>函館市にあり、他にない観光のメリットは、競馬場と競輪場があるということである。</p> <p>参加体験型で、ここでなければ体験できないものが提案できれば、集客には千載一遇のチャンスとなりえる。</p>
委員	<p>観光ルートとしてを点在している観光資源を線で結んでルートマップをつくるなどできればPRできるのではないか。</p> <p>ずーしーほっきーを前面に押し出して、観光の目玉にしてはどうか。</p> <p>北斗市全員でこれから来る観光客の皆さんを迎えられるような意識付けをできればいいのではないか。</p> <p>ふるさと納税を強化して、北斗市内の会社と北斗市をPRできるのではないか。</p> <p>観光として、制約はあるだろうが、ミス北斗や北斗なでしこなどを決めてPR活動を試してみてもどうだろうか。</p>

委員	<p>仕事に対しての覚える姿勢が変わってきている。</p> <p>昔は盗んでも覚えるものという姿勢であったが、現在は企業が育てていかなければならないと感じている。</p> <p>生産年齢人口が減り続けているので、企業として伸ばす方向にするのか、維持する方向に守るか分かれると思っている。</p> <p>建設業はどこにでも出ていける考えも持っており、また人がいないという事で、外国人実習生も実際にきている。</p> <p>この先を考えると、人がいなければ会社が成り立たない。</p> <p>育てた人間をいかにして外に出さないか、そしてベテランではない実習生、アルバイトを上手に使える指導者を育てなければならないと考えている。</p>
委員	<p>自分たちの職種では、円安や人手不足などでいつ潰れてもおかしくない状態である。</p> <p>新幹線開業よりも、現状を乗り切る方が精一杯である。</p> <p>観光に関して、北斗市だけでは観光を呼び込むのは無理ではないかと考えている。</p> <p>北斗市の観光資源はいいものはある。ただ、仕入れをどこからするのか（人を呼び込むか）が重要ではないか。</p> <p>聞くところによると、オリンピックのキャンプなどの誘致をすでに全国で480弱団体が手を挙げているということだが、北斗市が挙げていないとすれば、ひとつチャンスを逃したのではないだろうかと考えている。</p>
委員	<p>北斗市をどうPRしていくか、自分の仕事を通じていろいろやっている。</p> <p>北斗市は食が豊富である。山、海、産業なども盛んである。</p> <p>どのようにPRしていくのかということが、本当に難しい問題である。</p> <p>ただ、一人一人が自分で何ができるのか考えていくと、ちょっとずつでも答えが出てくる気がする。</p> <p>雇用という事でいうと、毎年子どもたちに仕事に興味を持ってもらえるように年齢に応じた職業訓練（体験）をしている。</p>
事務局	<p>市の方から一つ一つの意見に対しての返答はできないが、素案の検討の中で今日出されたものを踏まえて説明していかなければならないと考えている。その際にお示していきたい。</p> <p>点を線にしていく、ふるさと納税、ずーしーほっきーの利用、企業としての育成の変化、チャンスを逃さない取り組みということを踏まえて、5年間で優先して何ができるのか考えていきたい。</p>

[基本目標2] について

発言者	発言内容
委員	<p>北斗市らしさと言われても、ピンとこない、具体的に見えないので、全国へのPRが弱いのではないか。</p> <p>人口は減っていないと思っていたが、実際には減っている事がよくわかった。</p> <p>ここ2、3年東北地方からこちらでのPRしたいという売りこみが増えている。</p>

事務局	<p>北斗市らしさとは、いろいろな見方があるが、関東東北から近くなる、心がなごむという環境面、教育環境や医療費助成など他市町村との違いなどがあるかと思う。</p> <p>一つのツールとして考えていく視点が大事かと思っている。</p> <p>東北からの売り込みに関しては、特に青森県の方が活発である。</p> <p>北斗市としては、道内ではなく、本州からの誘客のため、北斗市を売り込むという事を行う必要があり、これまでは広域的な観光プロモーションを行ってきたが、その中で市の名前が知られていないという事もあったことから、今年から市独自の観光プロモーションを行ってきている。</p>
委員	<p>学校の生徒の8割が女子であり、地元志向が非常に強い。</p> <p>就職するのではあれば、市内若しくは近郊を希望しているが、なかなか就職先が見つからないことから、遠いところまで求人開拓に動いている。</p> <p>地元志向が非常に強いので、安心して過ごせる環境が必要。</p> <p>高校くらいまで補助・援助があるとありがたいと考えている。</p> <p>挨拶ができないということについては、学校では低学年のうちからしっかり指導しているので、意識はかなり変わってきていると感じている。</p>

[基本目標3] について

発言者	発言内容
委員	<p>自分たちが子供を育てた時からみると、いまはだいぶ違ってきている。</p> <p>現代の見るもの、聞くものが、人を思いやる心を無くさせている気がする。</p> <p>個人として、このような会議は、新幹線開業という話が正式に出る前からやっておくべきだったと思う。</p> <p>新幹線開業してから、3、4年が勝負だと思っている。</p> <p>観光と言っても、北斗市には身近なところに素晴らしい景色があると思っているが、なかなかそういうものがPRできていないのではないだろうか。</p>
委員	<p>北斗市は高校卒業まで医療費の助成があったり、子育てのサポートは厚いと思っているのだが、何故か若い人口が増えてない。</p> <p>高校卒業したら、近くには居れない。働く場所がないということも問題なのではないだろうか。</p> <p>地域のために何かしたいという教育ができていないからなのかもしれない。</p> <p>学校も街も宣伝というものが大事なのではないだろうか。子どもを育てるという事に関してもその部分が必要なのではないだろうか。</p>
委員	<p>骨子案では出産してから育てることについての記載はあるのだが、そもそも子どもをつくりたいという事に関しての政策についても考えてもらいたいと思っている。</p>

[基本目標4] について

発言者	発言内容
委員	<p>ここ10年で就業者は半分となり、平均年齢で65、6歳となっている。20～30代という後継者がいない状態となっている。</p> <p>これは、地元で主になる事業がないことから若い人が少ないのではないだろうかと考えている。</p> <p>他の地域では、外に出て戻ってきても、食べていけるという事業があることから、若い人がたくさんいる状態である。</p> <p>へき地という事で、なかなか若い人が住まないということがあるが、コロニー（社会福祉施設）の先生（指導者）が100名程度いるのだが、函館方面から通っており、地元に住んではない。</p> <p>これらの方が住めるような環境を整備することができれば、人を増やせるという部分も出てくるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>全部が網羅できないかもしれないが、ご容赦願いたい。</p> <p>外への発信力、地元志向が強い点、子育てに関しての福祉サービスの高さと人を思いやる事の大事さ、目玉事業があれば地元に戻ってきてくれるという事案、渡島コロニーの指導者の勤務を地元にとということについてお聞きできた。このようなものを整理して、施策に反映していきたい。</p>

【会長／その他】

本日の議事はこれまでとし、今日の意見を1次素案作りに検討いただき、できるだけ反映いただけるよう、お願いします。

その他事務局からの連絡事項があればお願いします。

※事務局より、次回の以降の日程調整のためをお願いをする。

【会長／閉会】

本日の会議を終了する。